

財務諸表に対する注記

1. 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

総平均法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法によっております。

無形固定資産

定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

奨学給付引当金

奨学生に対する奨学金の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
投資有価証券	80,511,700	980,279,780	—	1,060,791,480
投資準備資金	520,137,940	400,000,000	918,767,936	1,370,004
合 計	600,649,640	1,380,279,780	918,767,936	1,062,161,484

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
投資有価証券	1,060,791,480	(1,060,791,480)	(—)	(—)
投資準備資金	1,370,004	(1,370,004)	(—)	(—)
合 計	1,062,161,484	(1,062,161,484)	(—)	(—)

6. 担保に供している資産

該当事項はありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項はありません。

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	金 額
経常収益への振替額	
受取配当金	17,832,063
合 計	17,832,063

9. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

種 類	法人等の名称	住所	資産総額 (単位：百万円)	事業の内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (単位：百万円)	科目	期末残高 (単位：百万円)
						役員 の兼務等	事業上 の関係				
役員が 同一の 会社	(株) ダィオース	東京都 千代田区	5,840	子会社管理	%	兼任1名	業務委託	受取寄付金	5	—	—
								業務委託料 の支払	0	—	—
								建物の賃借料	1	—	—

10. 重要な後発事象

該当事項はありません。